

地域別構想の検討（2）<地域づくりの目標>

1. 地域別の将来像と方針図の検討プロセスの説明

（1）地域別の将来像の検討プロセスの説明

各地域に将来像を以下のステップで検討しました。

- ① これまで整理した「現状分析」や「市民アンケートやまちづくりサロンでの意見」等の把握から、各地域の特徴を表す主なキーワードやまちづくりに対する地域の想いを抽出します。
- ② ①のキーワードや想いを踏まえ、取組により実現された地域の姿が将来像に表現されることを念頭に置きつつ、地域らしさを表現するため、他の地域にもあてはまりやすい普遍的なキーワードよりも、地域の特徴が表現されているものに重きを置いて、将来像の文言を設定します。

○○地域の将来像

将来像

②将来像の設定

地域の魅力を高めるもの
ベースとして改善すべき課題

根底にある
地域住民の想い

①これまでの現況分析や地域の意見等より、地域を表すキーワードを抽出

【現状・課題】

テーマ別取組検討における現状・課題の整理

【市民の想い】

市民アンケート・まちづくりサロンの意見

（2）地域別の方針図の検討プロセス

- 各地域の方針図は各テーマの取組方針を重ね合わせたうえで、複数のテーマにまたがる取組や重要性の高い取組等を抽出し、地域の将来像の実現に向けて特に重要な取組を再整理したものとして描きます。
 - 複数のテーマに関連する取組※も存在することから、取組がどのテーマに関連するものなのかがわかるよう、取組の文言の後にテーマを表すアイコンを追加しました。
- ※ 例えば、国道254号バイパスの整備であれば、テーマ「にぎわい・活力」における産業の活性化と、テーマ「快適な移動」における幹線道路ネットワークの形成、テーマ「安全・安心」における広域的な緊急輸送道路の確保と3つの役割を担っていることから、この取組の場合、「にぎわい・活力」と「快適な移動」、「安全・安心」の3つのアイコンが付くことになります。

■地域の方針図設定の考え方（南部地域を例としたイメージ）

各テーマの 取組方針

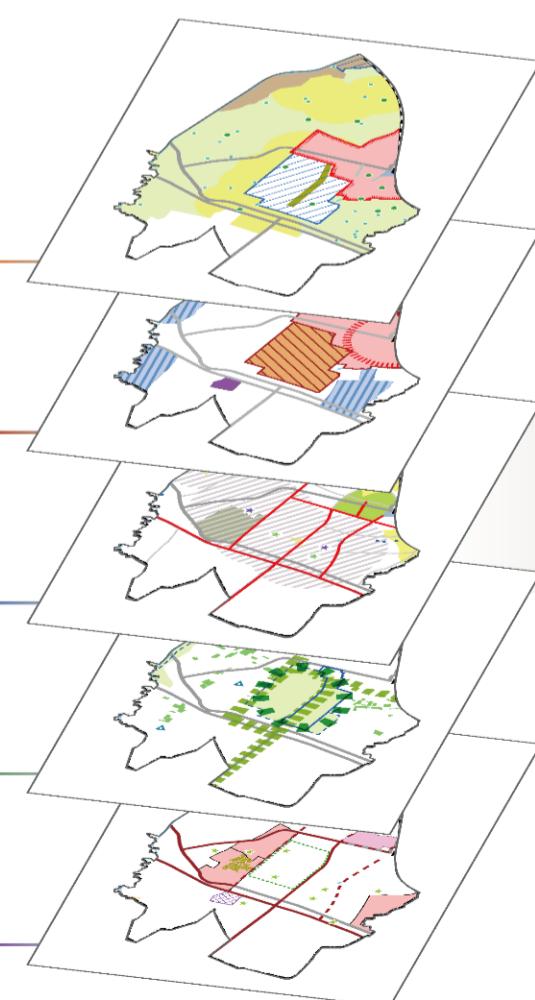
私らしい
暮らし

にぎわい
・
活力

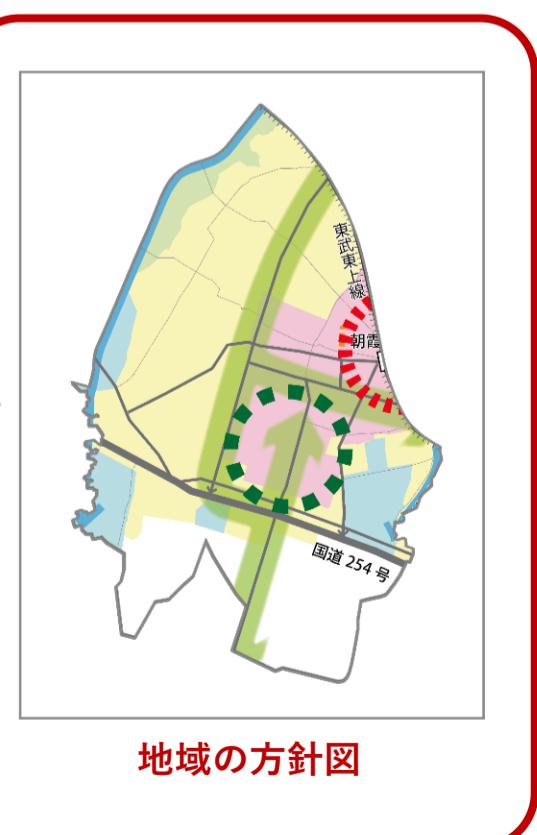
快適な
移動

自然
・
環境

安全
・
安心



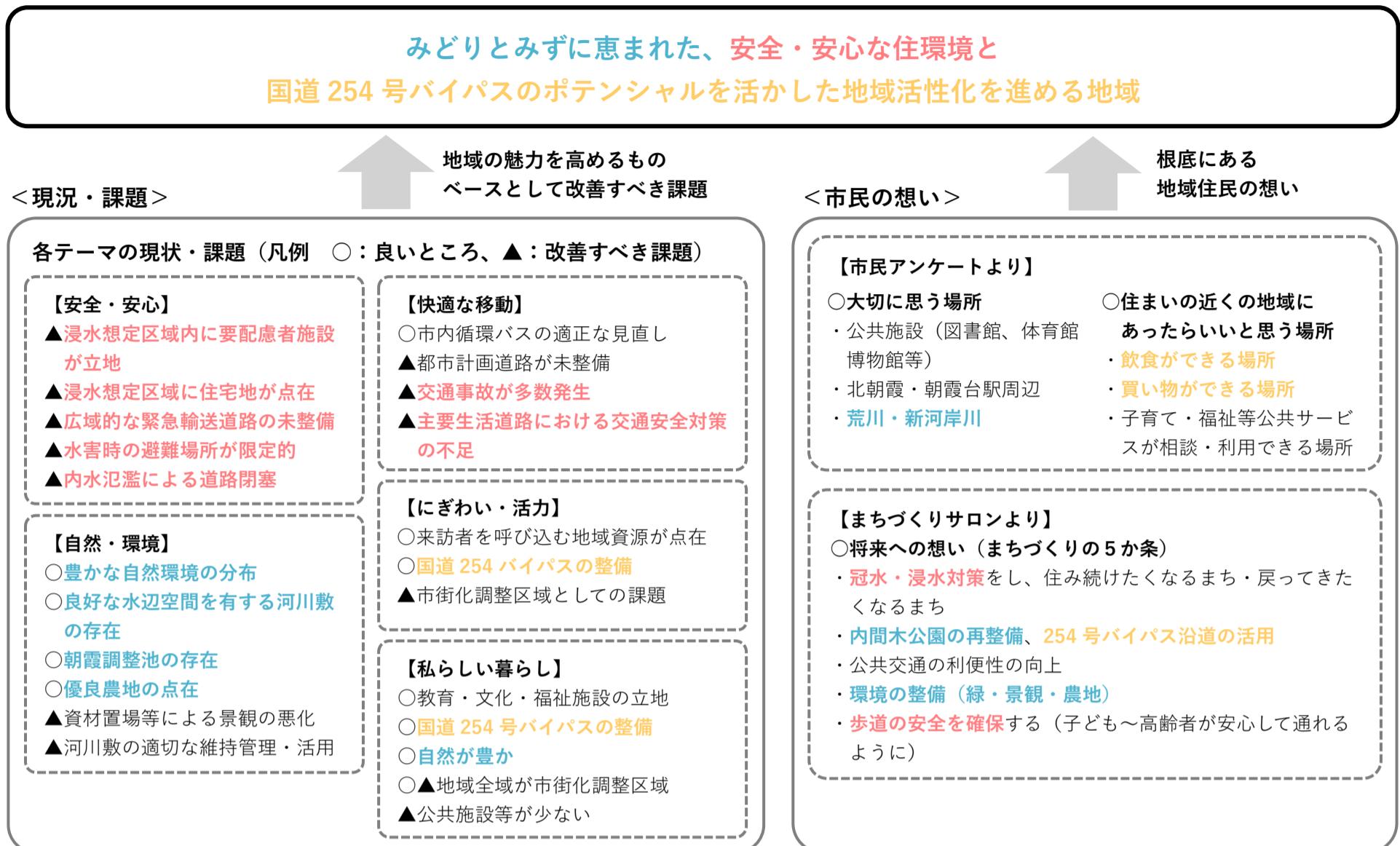
各テーマの方針図を重ね合わせたうえで、
複数のテーマにまたがる取組や重要性の高い取組等、
地域の将来像の実現に向けて特に重要な取組を再整理



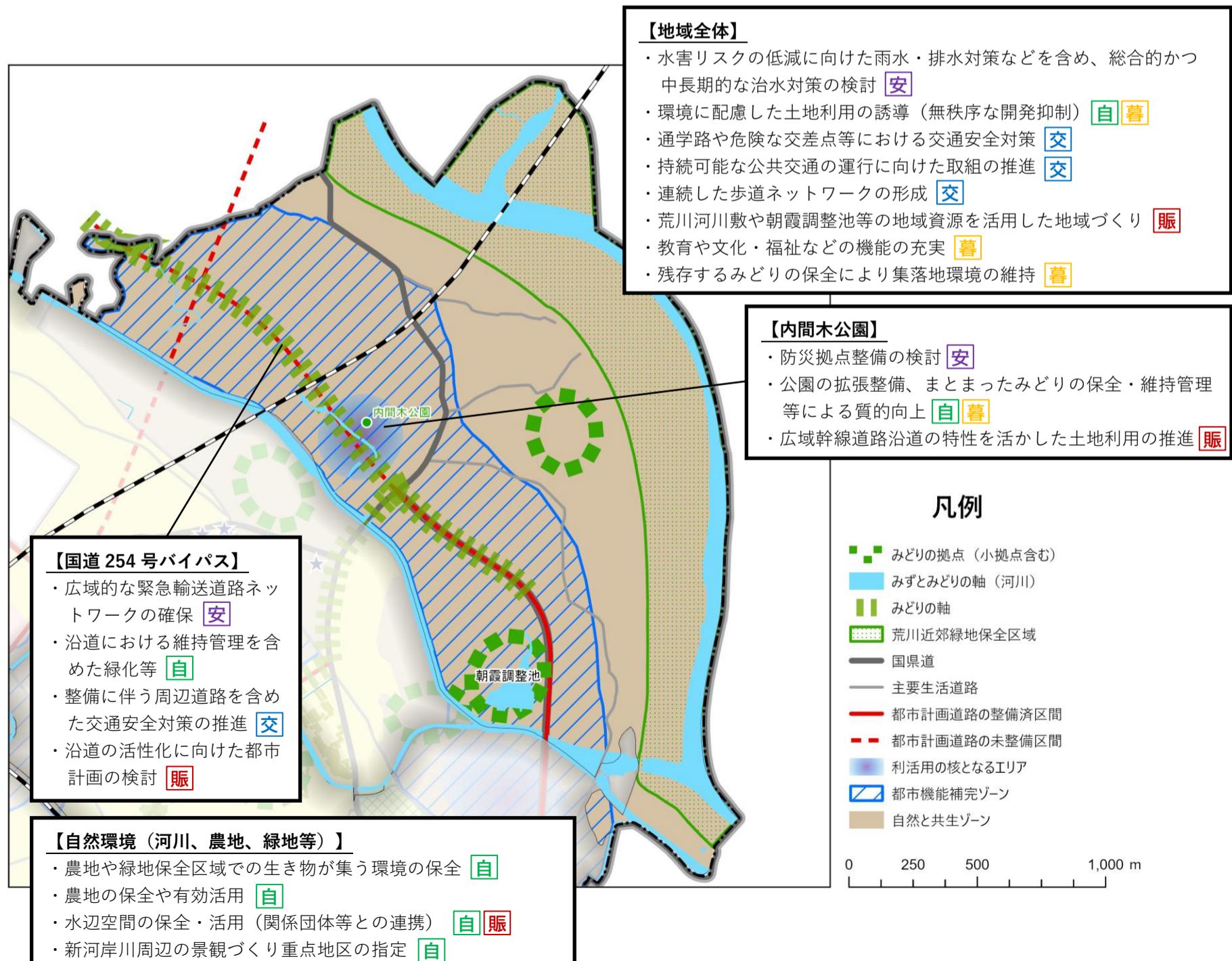
地域の方針図

2-1. 地域別の将来像と方針図の検討【内間木地域】

内間木地域の将来像



内間木地域の方針図



2-2. 地域別の将来像と方針図の検討【北部地域】

北部地域の将来像

市街地における安全対策のもと、地域資源を活かした暮らしの魅力と
駅周辺のにぎわいの共存により、暮らし訪れるたびに愛着が深まる地域

<現況・課題>

↑
地域の魅力を高めるもの
ベースとして改善すべき課題

<市民の想い>

↑
根底にある
地域住民の想い

各テーマの現状・課題（凡例 ○：良いところ、△：改善すべき課題）

【安全・安心】
△住宅密集地での延焼・避難リスク
△アンダーパスの浸水
△災害危険エリアに居住地や施設の立地
△浸水想定区域内に要配慮者施設が立地
△浸水想定区域に住宅地が点在

【快適な移動】
○交通結節点の存在
△公共交通空白地区の存在
△通学路の交通安全対策の不足
△自転車ネットワークが不連続
△都市計画道路が未整備
△連続した歩道ネットワークが形成されていない

【にぎわい・活力】
○駅を中心に都市機能が集積
○地区計画による計画的な土地利用の誘導
△商店街における商業用地が少ない
△駅周辺の公共空間が効果的に活用されていない
△浄水場による地域の分断

【私らしい暮らし】
○地域特性に応じた地区計画が定められている
○農地やみどりが残されている
△住宅密集地と狭あいな道路の分布
△公共施設が少ない
△浄水場が閉鎖的
△駅周辺の公共空間が効果的に活用されていない
△駅と黒目川の導線のつながりが希薄

【市民アンケートより】

○大切に思う場所
・北朝霞・朝霞台駅周辺
(店舗や飲食店等を含む)
・黒目川
・私の家のまわり

○住まいの近くの地域に
あつたらいいと思う場所
・飲食ができる場所
・買い物ができる場所
・緑が多く自然が豊かな場所

【まちづくりサロンより】

○将来への想い（まちづくりの5か条）
・若い世代を中心に選択肢が多いインクルーシブなまち
・まちに愛着をもち、自らにぎわいを創出したいまち
・人中心の安全に移動しやすいまち
・目に見えるみどりが多いまち
・犯罪しにくく、災害時に逃げやすいまち

北部地域の方針図

【災害リスクへの対応】

- ・水害リスクの低減に向けた雨水・排水対策などを含め、総合的かつ中長期的な治水対策の検討 **安**
- ・田島地区の河川沿いの災害の危険性の高いエリアからの居住の誘導 **安**
- ・朝志ヶ丘・宮戸地区における住宅密集地の防災機能強化や狭あい道路の交通環境の整備、防火対策の推進 **安** **暮**

【地域全体】

- ・都市計画道路（岡通線、黒目川通線）の整備による幹線道路ネットワークの形成 **交**
- ・通学路や危険な交差点等における交通安全対策の検討 **安** **交**
- ・鉄道高架下空間の利活用 **暮**
- ・地区計画を活用した良好な住環境の形成 **暮**

【地域資源】

- ・宮戸緑地周辺の緑地の保全や農地の利活用による郷土景観や生態系の保全 **自**
- ・地域資源（黒目川、浄水場、公園等）を活かしたにぎわいづくりを官民連携で推進 **賑**
- ・地域に開かれた浄水場に向けた検討 **暮**

凡例

- ◆ アンダーパス
- |||| 都市拠点
- みどりの拠点（小拠点含む）
- みずとみどりの軸（河川）
- みどりの軸
- 駅前広場
- 国県道
- 主要生活道路
- 都市計画道路の整備済区間
- 都市計画道路の未整備区間
- 都市機能補完ゾーン
- 地区計画を定めているエリア
- 住宅が密集しているエリア
- クラスター構成建物（200棟以上）
- 歩きたくなるウォーカブル推進モデルゾーン
- 住みよいくらしゾーン
- 自然と共生ゾーン

0 250 500 1,000 m

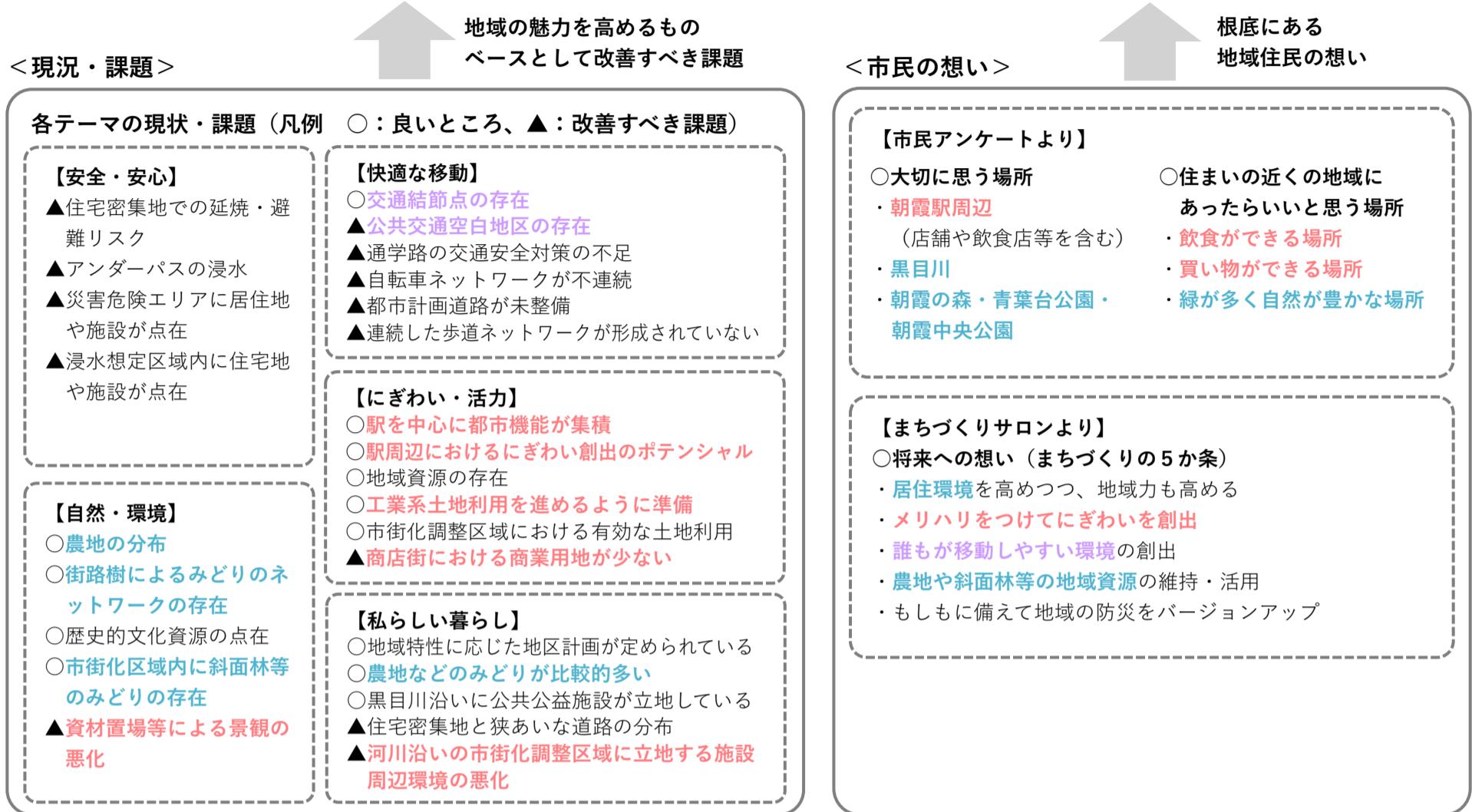
【北朝霞・朝霞台駅周辺】

- ・駅周辺での地区計画を活用した商業施設等の誘導施設の誘導や利便性の高い公共施設の集約化の推進 **賑**
- ・朝霞台駅舎建替えに伴う駅前広場の再編及び周辺環境の整備 **交** **賑**
- ・北朝霞駅西口ロータリーの広場化整備 **賑** **暮**
- ・駅周辺の公共施設を活用したイベントの実施や黒目川周辺のイベントとの連携による活気あるまちづくりの推進 **賑** **暮**
- ・北朝霞駅北口広場の防犯対策の推進 **安**

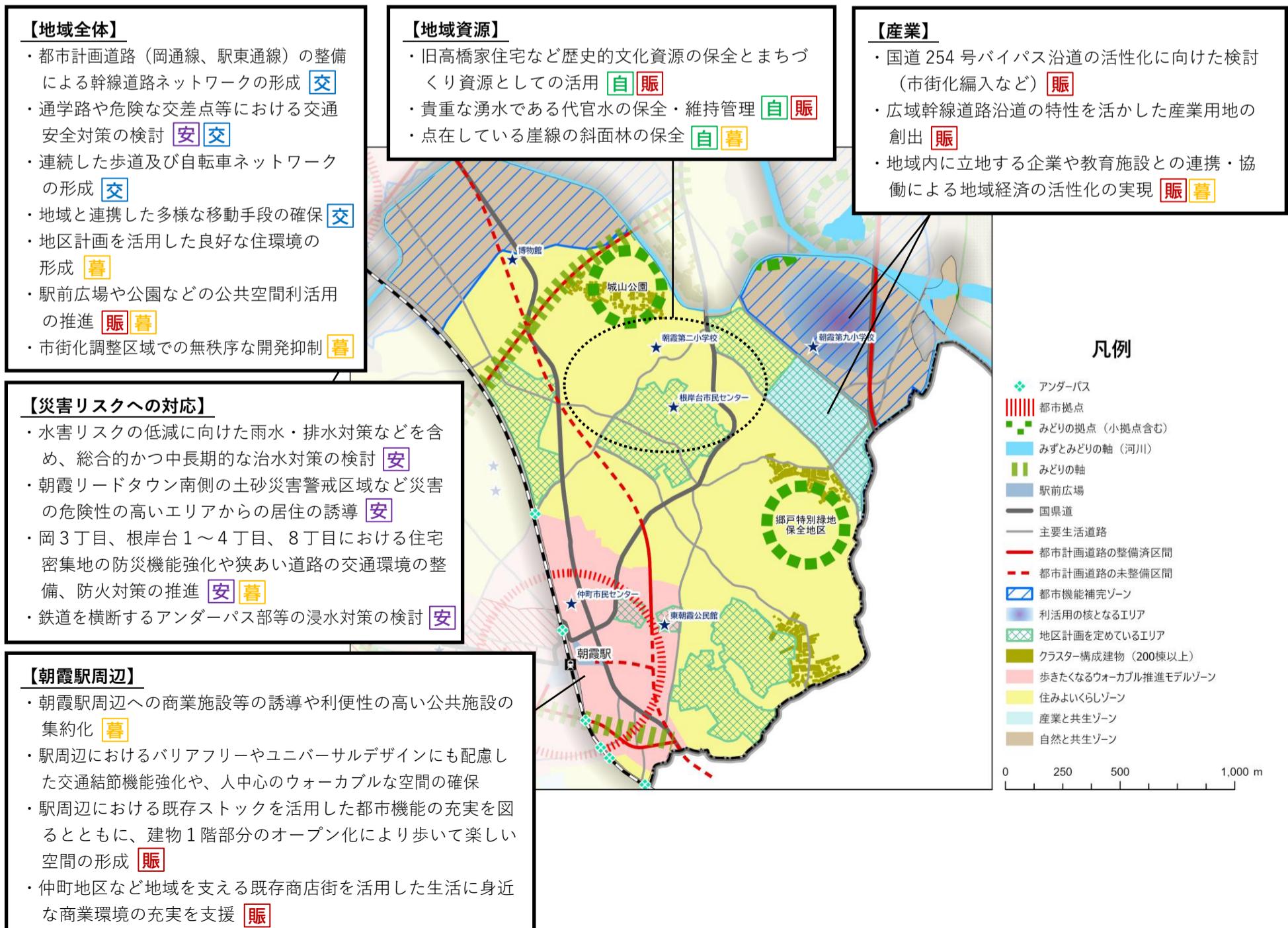
2-3. 地域別の将来像と方針図の検討【東部地域】

東部地域の将来像

農地やみどりが残る居住環境と、駅周辺や国道 254 号バイパス沿道における産業が
共存する生活利便性の高い地域



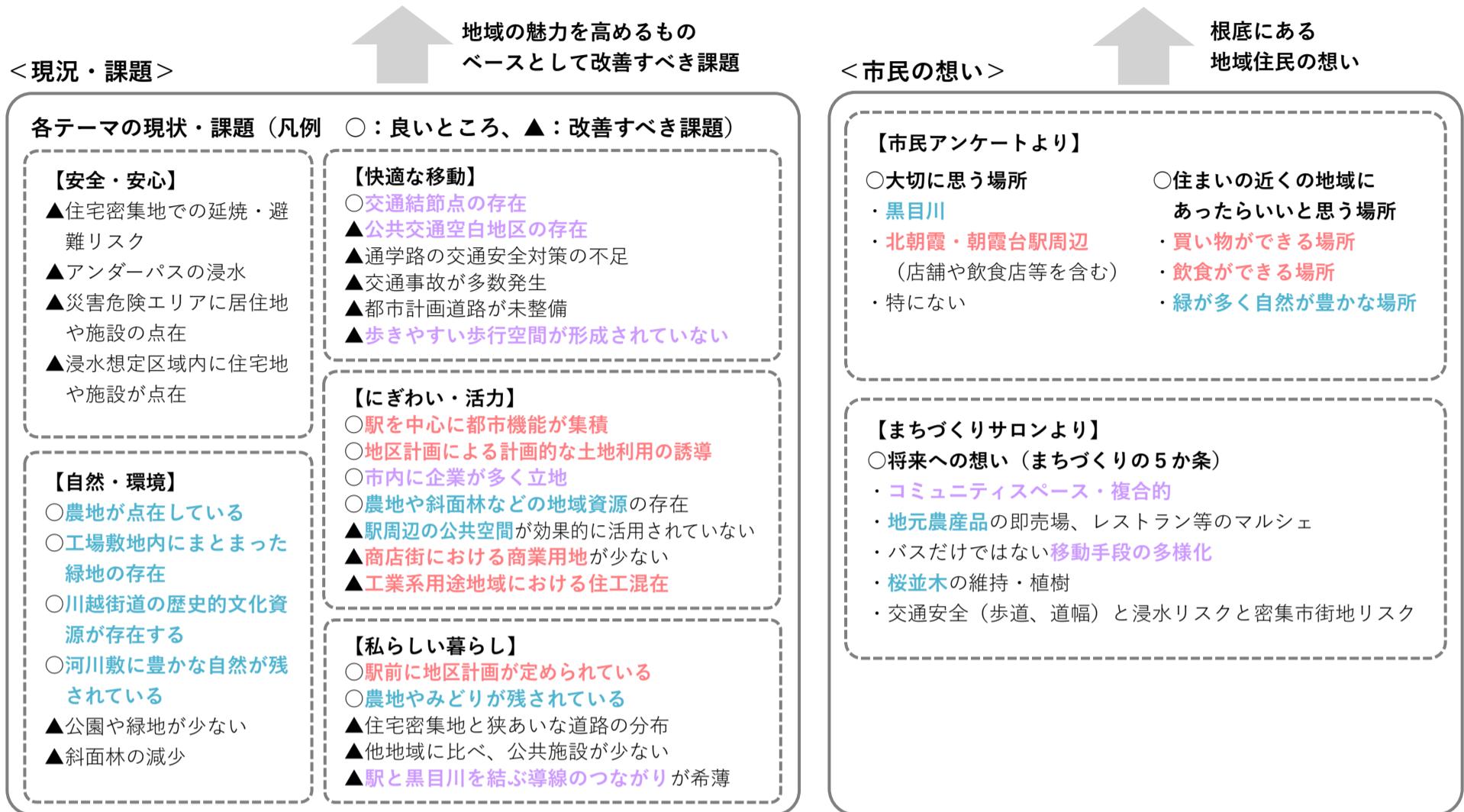
東部地域の方針図



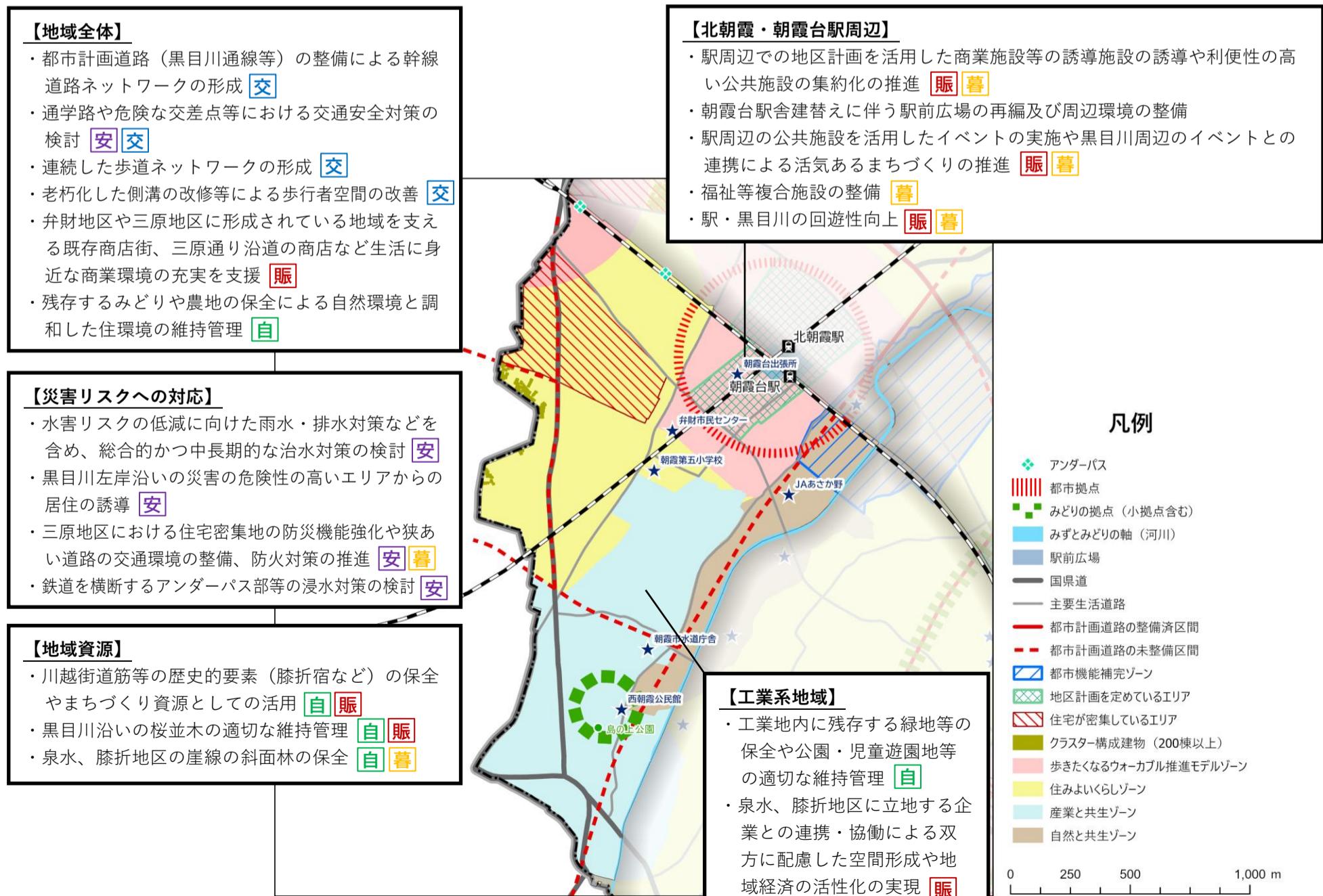
2-4. 地域別の将来像と方針図の検討【西部地域】

西部地域の将来像

駅周辺のにぎわいと魅力ある産業空間と、地域資源を活用した交流の場の創出によるつながりを感じられる地域



西部地域の方針図



(参考) 将来像の設定根拠

■【現状・課題】5つのテーマに対する現状・課題

テーマ【安全・安心】に対する地域の取組検討

西部地域

＜現状・課題＞

ア【地震・火災】住宅密集地等での延焼・避難リスク
・三原地区的住宅密集地では地震・火災による延焼リスクが高い
・狭い道路や行き止まり道路が多く避難を阻害

イ【水害・土砂】災害危険エリアに住宅地や施設が点在
・黒目川左岸沿いの家屋倒壊等氾濫想定区域や渓水・膝折地区的斜面地の土砂災害警戒区域など、災害の危険性の高いエリアに住宅地や施設が点在

エ【水害】アンダーバスの浸水
・鉄道を横断するアンダーバス(三原隧道)では豪雨時に浸水の恐れあり

ウ【水害】浸水想定区域内に住宅地や施設が点在
・黒目川左岸の浸水想定区域内に住宅地や福祉施設、医療施設等が点在している

【凡例】
市街化区域
市街化調整区域
住宅地
土砂災害
土砂災害警戒区域
土砂災害警戒警戒区域
避難場所・避難所
緊急避難場所・避難所
緊急避難場所
避難場所
住宅地等(100戸以上)
住宅地等(200戸以上)
住宅地等(500戸以上)
最大浸水深(想定最大規模)
0.5m未満
0.5m～1.0m未満
1.0m～3.0m未満
3.0m～5.0m未満
5.0m以上
河川等

0 250 500 1,000 m

12 戸

テーマ【にぎわい・活力】に対する地域の取組検討

西部地域

＜現状・課題＞

ア【商店街における商業用地が少ない】
・商店街において商業用地がほとんどみられず、主となる土地利用が住宅用地となっている
・空き地となっている箇所もみられる

イ【工業系用途地域における住工混在】
・工業系用途地域において、住宅用地が多くみられ、住工混在となっている

ウ【市内に企業が多く立地】
・企業が多く立地しており、民間企業と連携したまちづくりを図るポテンシャルがある

エ【農地や斜面林などの地域資源の存在】
・農地や斜面林、黒目川などの地域資源を有している

オ【駅を中心に都市機能が集積】
・駅周辺は交通の利便性が高く、店舗や医療施設などの都市機能が一定程度集積している

カ【駅周辺の公共空間が効果的に活用されていない】
・駅周辺では、公園や黒目川などの公共空間があるものの、効果的に活用されていない

【凡例】
市街化区域
市街化調整区域
道路
都市計画道路
整備済
未整備
地図計画を定めているエリア
商店街
工場系用地帯
R2土地利用現況 ※令和2年度都市計画基準調査時点の土地利用を表現
住宅地
商業地
工業地
公共施設
公共施設地
農地
農地用
その他自然用地
その他用地
道路用地
河川等

0 250 500 1,000 m

18 戸

テーマ【自然・環境】に対する地域の取組検討

西部地域

＜現状・課題＞

ア【自然】工場敷地内等にまとまった緑地の存在
・工場敷地内においてもまとまった緑地が整備されている

イ【景観】川越街道の歴史的文化資源が存在する
・川越街道の街道筋としての歴史的文化資源(膝折宿など)が存在する

ウ【公共空間】公園や緑地が少ない
・三原地区は住宅が密集している一方、公園や緑地、農地が少ない

エ【農地】農地が点在している
・市街化調整区域内に農地が点在し、その多くが生産緑地に指定されている
・市街化調整区域では農地が多く分布している

オ【自然】河川敷に豊かな自然が残されている
・河川敷に自然地が多く、豊かな自然環境を有している

カ【自然】斜面林の減少
・泉水、膝折地区的崖線の斜面林が減少している

【凡例】
改善すべき課題
良いところ

0 250 500 1,000 m

26 戸

テーマ【暮らし】に対する地域の取組検討

西部地域

＜現状・課題＞

ア【住宅密集地と狭い道路の分布】
・三原地区的住宅密集地では地震・火災による延焼リスクが高い
・狭い道路や行き止まり道路が多く避難の阻害要因が存在

イ【他地域に比べ、公共施設が少ない】
・公共施設が少なく、交流の場が不足している
・都市公園の誘致圏にカバーされていないエリアが広い

ウ【農地やみどりが残されている】
・市街化調整区域には多くの農地が残されている
・市街地内にも農地やみどりが多く残されている

オ【駅と黒目川の導線のつながりが希薄】
・駅近くに自然を感じることができる黒目川があるにもかかわらず、連続性がなく、駅から黒目川を目的地とする人は少ない

【凡例】
市街化区域
医療施設
高齢者福祉施設
子育て支援施設
児童遊憩地(既開設施設含む)
公園(既開設施設含む)
国営道
地図計画を定めているエリア
住宅地
農地
その他自然用地
その他用地
河川等

0 250 500 1,000 m

32 戸

テーマ【快適な移動】に対する地域の取組検討

西部地域

＜現状・課題＞

ア【道路】都市計画道路が未整備
・都市計画道路の未整備区間が残されている

イ【道路】歩きやすい歩行空間が形成されていない
・主要な生活道路であるものの、連続した歩道が整備されていない
・老朽化した側溝等により歩きにくい空間となっている

ウ【道路】交通事故が多発
・交差点付近では交通事故が多く発生している

エ【道路】通学路の交通安全対策の不足
・学校周辺における通学路の安全対策が不十分

オ【道路】交通結節点の存在
・交通結節点となる主要駅(北朝霞駅、朝霞台駅)が立地している

カ【公共交通】公共交通空白地区の存在
・膝折地区は公共交通の利便性の低いエリア(公共交通空白地区)が存在する

【凡例】
市街化区域
小学校
中学校
交通結節点
都市計画道路
整備済
未整備
国営道
主要な生活道路
生活道路に整備された歩道
公共交通空白地区
河川等

0 250 500 1,000 m

40 戸

■【市民の想い】市民アンケート

○大切に思う場所

1位 黒目川
2位 北朝霞・朝霞台駅周辺(店舗や飲食店等含む)
3位 特にない
4位 私の家のまわり
5位 朝霞の森・青葉台公園・朝霞中央公園

○住まいの近くの地域にあったらいいと思う場所

1位 買い物ができる場所(スーパー・コンビニ等)
2位 買い物ができる場所(デパート・大規模ショッピングモール)
3位 飲食ができる場所
4位 緑が多く自然が豊かな場所
5位 買物ができる場所(個店が集まる商店街)

■【市民の想い】まちづくりサロン

まちづくりの5か条(将来への想い)

暮らし

コミュニティスペース・複合的

議論の要点
・公民館、児童館などコミュニティの場が提供されるほか、子どもが遊べる自由広場も整備すること。また、図書館などの施設を整備する際に、富士見市のように、フリースペースも用意してほしいとの意見がありました。

賑わい

地元農産物の即売場、レストラン等のマルシェ

議論の要点
・空き店舗の活用を推奨し、個人商店で会話しながら買い物ができる商店街をつくること。また、地元の農家が作った農産物を味わえる・買える機会の創出が必要との意見もありました。

快適な移動

バスだけでなく移動手段の多様化(デマンドバス(タクシー)、移動販売も兼ねて)

議論の要点
・通勤・通学者と高齢者の公共交通に対する需要が異なるため、年代別の需要に対応するように公共交通を整備すること。加えて、定時運行しないバスなどの活用により、全体的な利便性を向上するとの意見もありました。

自然・環境

桜並木の維持・植樹

議論の要点
・昔植えた桜の木が「高齢」になり、倒れる危険性があるため、桜並木の維持を図り、計画的に植替えを図ること。

安全・安心

交通安全(歩道、道幅)と浸水リスクと密集市街地リスク

議論の要点
・道路が狭く、歩道がないなど、交通安全の確保が求められること。また、地域により浸水リスクがあるため、安全対策を図ることも求められました。

【模造紙の記入例】

2-5. 地域別の将来像と方針図の検討【南部地域】

南部地域の将来像

駅周辺や基地跡地を中心としたにぎわいの創出と
みどりや歴史、地形などを活かした楽しい地域

<現況・課題>

地域の魅力を高めるもの
ベースとして改善すべき課題

根底にある
地域住民の想い

各テーマの現状・課題（凡例 ○：良いところ、△：改善すべき課題）

【安全・安心】
△住宅密集地での延焼・避難リスク
△アンダーパスの浸水
△災害危険エリアに居住地や施設が点在
△浸水想定区域内に住宅地や施設が点在

【快適な移動】
○交通結節点の存在
○自転車ネットワークの形成
△公共交通空白地区の存在
△通学路の交通安全対策の不足
△連続した歩道ネットワークが形成されていない
△勾配による高齢者の移動制約

【自然・環境】
○河川敷に豊かな自然が残されている
○川越街道の歴史的文化資源が存在する
○街路樹によるみどりのネットワークの存在
○市民の憩いの場である基地跡地の存在
△緑地の分布の偏り

【にぎわい・活力】
○駅を中心に都市機能が集積
○駅周辺にまちづくりに関するイベントが開催
○基地跡地がある
○川越街道等の地域資源の存在
○川越街道が存在
△商店街における商業用地が少ない
△工業系用途地域における住工混在

【私らしい暮らし】
○基地跡地をはじめ、公園が多く分布
○駅周辺にまちづくりに関するイベントが開催
○農地やみどりが残されている
△住宅密集地と狭い道路の分布

<市民の想い>

【市民アンケートより】

○大切に思う場所
・朝霞の森・青葉台公園・朝霞中央公園
・黒目川
・朝霞駅周辺
(店舗や飲食店等を含む)

○住まいの近くの地域に
あつらいいと思う場所
・買い物ができる場所
・飲食ができる場所
・緑が多く自然が豊かな場所

【まちづくりサロンより】

○将来への想い（まちづくりの5か条）
・子どもから高齢者、障がい者も安心して暮らせる地域づくり
・歴史や地形を公民で活かして朝霞を楽しむ
・高齢化に対応した持続可能な移動手段の確保
・市民の手で緑や環境をもっと良くしていく
・狭いみちでも安全で、いざというときにも安心

南部地域の方針図

【地域全体】

- 通学路や危険な交差点等における交通安全対策の検討 **安** **交**
- 連続した歩道及び自転車ネットワークの形成 **交**
- 地域と連携した移動手段の確保 **交**
- ひざおり通りなどの坂道周辺におけるまちなかベンチの設置の検討 **交**
- 膝折町や栄町などに立地する企業との連携・協働による双方に配慮した空間形成や地域経済の活性化の実現 **賑**
- 膝折町、幸町、本町、栄町など地域を支える既存商店街を活用した生活に身近な商業環境の充実を支援 **賑**

【朝霞駅周辺】

- 市役所をはじめ、主要な公共施設の立地を活かし、朝霞駅前の活性化と連動した回遊性の高い歩道・広場の設置・充実などにより中心拠点としての魅力向上 **賑**
- オープンスペースの創出に向けた取組と、空間を活用したイベントの実施 **賑**
- シンボルロードの歩行者利便増進道路指定による道路空間の利活用 **賑**
- 駅周辺への商業施設等の誘導施設の誘導や利便性の高い公共施設の集約化 **賑**
- 朝霞駅南口周辺地区個別安全対策基本構想に基づく交通安全対策 **安** **交**

【地域資源】

- 黒目川沿いの桜並木の適切な維持管理 **自**
- 川越街道筋の歴史的要素（膝折宿）の保全やまちづくり資源としての活用 **自** **賑**
- 貴重な湧水である広沢の池の保全・維持管理 **自** **賑**

【基地跡地】

- 基地跡地利用計画、基地跡地地区地区計画に基づく施設整備及び土地利用の推進 **賑**
- 基地跡地における防災拠点化の検討 **安**
- 朝霞駅周辺と一体的ににぎわいや活力の創出に向けた官民連携の取組の推進 **賑**

【災害リスクへの対応】

- 水害リスクの低減に向けた雨水・排水対策などを含め、総合的かつ中長期的な治水対策の検討 **安**
- 黒目川右岸沿いの災害の危険性の高いエリアからの居住の誘導 **安**
- 幸町・本町・栄町周辺における住宅密集地の防災機能強化や狭い道路の交通環境の整備、防火対策の推進 **安** **賑**
- 鉄道を横断するアンダーパス部等の浸水対策の検討 **安**
- 駅前通りやシンボルロード等の無電柱化の推進 **安**

凡例

- △アンダーパス
- 都市拠点
- みどりの拠点（小拠点含む）
- みずとみどりの軸（河川）
- みどりの軸
- 駅前広場
- 国県道
- 主要生活道路
- 都市計画道路の整備済区間
- 都市計画道路の未整備区間
- 都市機能補完ゾーン
- 地区計画を定めているエリア
- 住宅が密集しているエリア
- クラスター構成建物（200棟以上）
- 歩きたくなるウォーカブル推進モデルゾーン
- 住みよいくらしゾーン
- 産業と共生ゾーン
- 自然と共生ゾーン

0 250 500 1,000 m

